

司 会 ①三畑長老 ②久保田兄 ③原兄
 奏 楽
 祈 禱

賛 美 聖歌466番「かわけるわれは上よりたもう」
 (さあ主に捧げよう) (あなたは愛されるため生まれた)
 ヤベツの祈り・3つの愛

聖 書 ①② マタイによる福音書14章22～33節(P23)
 ③ 使徒行伝2章40～47節(P183)

音 楽 聖歌隊&オーケストラ (V)

メッセージ ①② 「伸ばされた手」 佐々木智行副牧師
 ③ 「多くの不思議としるし」 大川従道主任牧師
 (Many wonders and signs)

賛 美 「大波のように神の愛が」 (献金・東京伝道の為)
 頌 栄 「主の祈り」 アーメン
 祝 禱

「みんなの者におそのれの念が生じ、多くの奇跡としるしとが、使徒たちによって、次々に行われた。」
 (使徒行伝二の四十三)

【大和ニュース】

☆秋田の小西師と西可児の長谷川師が牧師挨拶を受けられました。

☆まだまだ総員礼拝はむずかしい現状です。3密には呉々もご注意下さい。

毎週金曜日にホームページで、大切なお知らせをいたします。

* すべての礼拝及び祈禱会等は、ネット(ユーチューブ)で配信いたします。

まだ公共の交通機関を使用しての「礼拝出席」は、ご遠慮頂いています。

* 今週も祈禱会を大切に！①水曜夜：(ネットのみ)。②木曜朝：坪井副牧師(予約不要)。

③金曜夜：説教は大野 M 伝道師(ネットのみ)。

* 「断食祈禱日」は、12日(金)9時～15時。6人の説教者が語ります。

(木曜祈禱・断食祈禱は、予約なしで参加できます。送迎は、ありません。)

* 東京カルバリーは、5時から「淀橋教会」にて。独奏はクリス氏、説教は大川師。

石の枕

私の人生に大きな影響を与えた本が3冊あります。第1は聖書、第2は「小公子」、第3は「ベン・ハー」。月刊「レムナント」に紹介された文を引用します。

アメリカの天才的な文学者であり、将軍であったルー・ウォーレスは、キリスト教が大嫌いであった。「アメリカを軟弱にしているのはキリスト教だ。あれは逃避だ。事実をゆがめている」

と、キリスト教に対して敵愾心を抱いた彼は、とくに知的な階層に向けて無神論的な運動を展開していた。彼はあるとき、友人たちに誓いを立てて言った。

「俺はいずれ、世界からキリスト教を撲滅してしまうような本を書く」。

それからの彼は、キリスト教を徹底的に研究し、そのあら捜しを行った。キリストの復活や奇跡が、ただの神話で作り話だと証明しようとした。パレスチナにも行って、キリスト教を否定する証拠を見いだそうとした。

本を書き始め第二章を書いていた夜のこと、二つのことが、彼の心から離れなくなってしまった。一つは、キリストの十字架上の言葉。「父よ、彼らをお赦してください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです」(ルカ23の34)であった。彼はこの言葉は、自分に語られていると思えた。

もう一つは、あのキリストの軟弱な弟子たちが、復活後に何故あのように突然強くなったのか、という疑問であった。人は決して、真実のためでなければ命を賭けたりしない。復活は事実だったのか？その夜、彼は突然ペンを投げ出してしまった。

彼はひざまずき、それまで自分が滅ぼそうとしていたイエス・キリストに向かって、祈って言った。「わが主よ。わが救い主よ。」

ルー・ウォーレスは、それまでの原稿を破り捨てた。その後しばらくして、彼はペンを握りなおし、あの不朽の名作「ベン・ハー」を書き上げた。

先週はペンテコステ。聖霊なる神の力を受けると、人間は生れ変わり、新しい力を受けて、生き方が新しくされる。あなたもその恵みをお受けになりませんか。受洗希望者は、牧師まで申し出てください。映画『ベン・ハー』は、是非観てください。 ”うれしくて、ありがたくて、感謝いっぱい“

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！

Aコース:ヨハネ16章～20章 Bコース:歴代志下23章～エズラ5章